

# 理科 化学

※出題内容、問題番号、配点は2月3日実施分です。

(出題内容・形式・配点)

内容	形式	配点	試験時間
I 物質の状態・変化・平衡	マークと記述を併用	25	80分
II 無機化学	マークと記述を併用	25	
III 有機化学	マークと記述を併用	25	
IV 高分子化学	マークと記述を併用	25	
合計		100	

(解答する問題について)

方式	型	解答する問題
学部個別配点	理科1科目型	I、II、III、IV(全問解答)
	理科2科目型	I、II、III(IVは解答しない)

※全学統一方式、後期分割方式は全問解答です。

## 【出題の基本方針】

大問4つで、無機化学分野から1題、理論化学分野から1題、有機化学分野から2題の出題とした。高校化学の教科書の内容を十分に学習しておけば解答できる基礎学力を測ることを基本方針と

し、暗記偏重とならない出題でまとめるよう努めた。加えて、いずれの分野についても、受験生の計算力と数学力を測る問題を組み込んだ。難易度の高い問題はヒントを与え、解答を誘導するような配慮を加えた。

## 【学習のポイント】

- 教科書を中心に、無機・理論化学分野から有機化学分野まで幅広く学習し、基礎知識を確実に身につけたうえで、思考力や応用力を養うことが重要である。
- どの分野においても、計算問題では正答率が低くなる傾向がある。化学では数値化することが大きな意味を持つ。日頃から意識して計算問題を解き、十分な鍛錬を積んでほしい。
- 無機化学の学習は、単にある元素の特徴のみを理解するだけでなく、オキソ酸のように横断的な元素に関する問題にも対応できるように学習をすることが重要である。過リン酸石灰に関する計算についても、反応式を正しく理解して、計算ミスの無いように心がける必要がある。
- 有機化学の学習では、構造(不斉炭素)、性質、反応を体系的に関連付けて理解することが重要である。
- 化合物名や化学式(構造式)や化学用語を記述する際には、正確に表記することを意識してほしい。乱雑な記述は減点の対象となったり、正解とならない場合もある。
- 記述問題では誤字脱字や乱暴な表記が散見されたので、日頃から丁寧に正確な記述を心がけることを促したい。
- 暗記偏重でなく、基本的な事項の理解のうに思考力や応用力を磨く訓練をしてほしい。問題文をよく読み、論理的に鍵を解くように回答を導く能力が問われている。初めてみる問題では戸惑うことが多いと思うが回答することは可能である。